

アスパラガス・冬どりレタスの栽培技術習得支援

(課題番号 8)

◆活動年次：令和3年度

◆対象：浦河町野菜振興会 アスパラガス新植農家2戸、レタス農家4戸

1 課題の背景

浦河町では冬春季温暖な気候を活かした、アスパラガス、冬どりレタスの生産が盛んに行われ、JAひだか東による共同選果体制が整っている。

当地域では、冬春どり作物の栽培技術が確立されていないため、関係機関(JA、町)と連携した技術支援を行った。

道内主要都市の気象の10～3月平年値

項目	最低気温 平均値(°C)	日照時間 合計値(h)	降雪量 合計値(cm)
アムダス			
浦河	-1.2	907	145
函館	-1.6	750	374
岩見沢	-4.1	675	734
旭川	-6.2	586	715
帯広	-6.3	1,104	194

2 活動の経過

項目	担当	時期	内容
個別巡回指導	普及センター	4～3月	生育確認、栽培技術指導、土壌診断
関係機関巡回、 技術資料	普、JA、町	4～3月	栽培技術指導、関係機関内での生育状況の共有、気象に関する情報提供
道総研との現地協議	普、花・野菜 技術センター	11月	道総研における冬どりレタス栽培の情報提供、低温対策に関する助言
出荷反省会	普、JA、町	12月	R3年度の出荷実績分析、情報提供 農家間の意見交換



関係機関巡回（アスパラガスほ場(左)、レタスほ場(右)）



道総研との現地協議



生育状況確認

3 活動の成果

(1) 基本栽培管理(温度管理、病虫害防除)の向上

各無加温ハウスの特徴を捉え、隙間を埋めるなどの低温対策を見直すことができた。

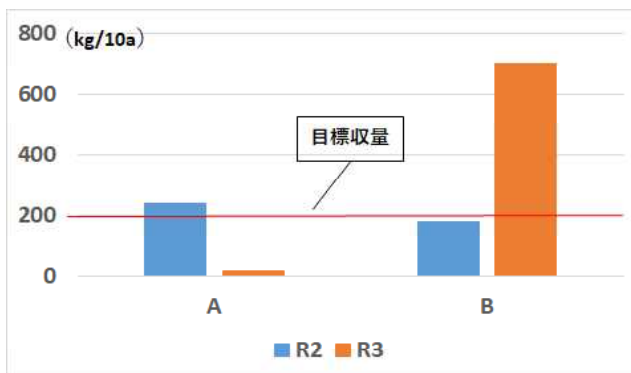
これにより、ハウス内の気密性が上がり、平年より早期(2月上旬)の出荷が実現できた。

病虫害の適期防除とローテーション防除に関する意識の向上が図られた。

(2) 生育状況の共有化

関係機関や農家間でほ場の情報を共有化することで、情報交換が活発となり、栽培意識が向上した。

(3) 収量・販売額の向上



アスパラガス新植農家における春芽収量の推移

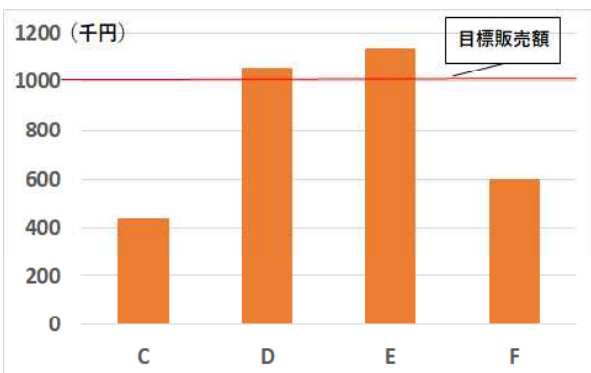
①アスパラガス新植農家Bの春芽収量は昨年度を大きく上回り、目標収量(200kg/10a)を達成した。農家Aは体調不良のため、収穫管理ができなかった。

これまで出荷してなかった時期に出荷できたことは、自信につながった。

良好な生育には温度管理が重要だと実感できた。



他の生産ほ場の話を聞くのは勉強になる。自分も頑張ろうという気持ちになった。



レタス農家の10aあたり販売額

②2~3月どりレタス目標販売額100万円/10aを2戸が達成した。

4 今後の方向

農業者が基本栽培技術を習得し、満足感を示しているため、本年度で終了する。